

事務事業 No./名 称	■サービス部門 市民-36 玉縄支所管理運営事務									
	□支 援 部 門									
主管課	玉縄支所					関連課				
分野名	行財政運営 コミュニティ									
目標 (目標値)	地域住民の身近なところできめ細やかな行政サービスを提供するとともに、支所機能の充実を図り、より一層の市民生活の向上・福祉増進を目指す。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数	25,622人	25,560人	25,542人						
運営資源 状 況	決算値(千円)	34,865	33,698	33,172						
	(国・県)									
	(負担金等)	69	56	61						
	(一般財源)	34,796	33,642	33,111						
	人員配置数	5.0	5.0	5.0						
	人件費(千円)	39,075	41,961	42,244						
	協 働 の パートナー									
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	73,940	75,659						
市民1人当 りの経費(円)		417	427	426						
対象者1人 当りの経費(円)		2,886	2,960	2,953						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	日野市	立川市	三鷹市
	住所・戸籍異動	未実施	実施	実施	実施	支所なし	未実施	実施	実施	実施
	国保・年金異動	未実施	実施	実施	実施	支所なし	未実施	実施	実施	実施
	市税等の収納	未実施	実施	実施	実施	支所なし	実施	実施	実施	実施
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
昼休み窓口前業務の実施	◎	目標値	毎日	毎日	毎日	毎日				
		実績値	毎日	毎日	毎日	毎日				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退										

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止									
玉縄支所運営事務	6,647千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	戸籍届、住民異動届、印鑑の登録・廃止、諸証明書の交付、国民年金、国民健康保険の各種届出、市税等の収納事務、地域団体との連絡・協調に係る事務を行う。													
玉縄支所管理事務	28,218千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	玉縄行政センターの施設管理を行う。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	①法改正等による新たな事務の増加、コンピューターシステムの更新が予定され、全職員が正確に対応できる能力が要求される。 ②玉縄行政センターは築25年が経過し、設備の老朽化が進んでおり、今後これらの設備について、計画的な修繕が必要となる。		
課題解決のための取組	①全職員が新たな窓口事務に対応できるよう研修・指導を行った。また業務上の細かな疑問点・問題点について直ちに解明し、全職員に周知するようにし、全体の資質の向上を図った。 ②電気設備の改修を中心に計画的な維持修繕を行った。	取組の結果	■解 決 □未解決
未解決の課題	エレベーター・空調設備等の大規模な修繕を計画的に行う必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性	○		地域福祉の推進が重要視される中で、支所は、本庁業務の出先機関というだけでなく、地域の拠点として重要な機関となっている。そのような支所の役割を再認識し、業務に当たるよう職員の意識や資質をより高めていく。 施設・設備についての大規模な修繕を具体化していく。	 A	課長等名
		③有効性	○				
		④公平性	○				玉縄支所長 植地 由美子

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
玉縄支所運営事務	主な個別事業	298 事務嘱託員報酬 5人	5,141	5,141	○	○	○	○
		298 文房具等消耗品費	540	459	○	○	○	○
		298 電話、ファクシミリ等電信料	576	455	○	○	○	○
		298 電子複写機賃借料	227	220	○	○	○	○
玉縄支所管理事務	主な個別事業	299 光熱水費	8,578	6,870	○	○	○	○
		299 施設維持修繕料	3,513	3,511	○	○	○	○
		299 昇降機等施設保守点検手数料	1,043	1,043	○	○	○	○
		299 施設総合管理業務委託料	15,347	15,347	○	○	○	○
		299 冷温水発生機保守点検委託料	358	358	○	○	○	○
		299 夜間機械警備委託料	253	253	○	○	○	○
		299 給水ポンプ設備保守点検委託料	231	231	○	○	○	○
		299 植栽管理委託料	276	276	○	○	○	○
		299 自動扉保守点検委託料	164	164	○	○	○	○
		299 衛生害虫防除等委託料	158	158	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							